

【BCP訓練 ACKG 30拠点に対策本部】

BCP訓練

30拠点に対策本部

ACKG

ACKGグループは2日、グループ各社の全拠点で、最大規模の地震を想定した全従業員約1800人の参加による全社一斉防災訓練を実施した。「事業継続計画（BCP）」と初動対応の手順を詳細に定めた「BCP初動対応編」に沿って、「円滑な初動対応の



実践」をテーマに行った。

グループの全国約30拠点に

現地災害対策本部を設置し、

「従業員の安否確認」「初動

対応における役割分担の明確

化」「事業復旧時期の判断」

「従業員の帰宅可否の判断」

「帰宅困難者への備蓄物の配

布」など、初動対応の一連の

流れを訓練した。また、本社

に災害対策本部を設置し、グ

ループ各社の災害対策委員会

から報告される各種情報の対

応・判断も訓練した。

訓練に先立つ事前準備とし

て、発災直後の通信回線の混

雑対策としてPHSを新たに

準備したほか、仮設トイレの

設置やごみの分別ルールを明

確にするなど、BCPを充実

した。

野崎秀則社長は災害対策本

部会議で「今回の防災訓練で

は、テーマとした円滑な初動

対応の実践に一定の成果が得

られた」と評価しながら、

「今後は、今回の防災訓練の

結果を基に幅広く課題を洗い

出し、さらにBCPを充実す

る必要がある。特に、非常用

電源については、より実践的

に使用できるように改善する」

と述べた。

同社グループは、今回の防

災訓練で洗い出された課題に

基づき、引き続き確実な事業

継続に向けて行動していく。

【ACKグループ 全社一斉防災訓練を実施 円滑な初動対応実践】



ACKグループは2日、グループ各社の全拠点において、最大規模の地震を想定した全従業員参加（1800人規模）による「全社一斉防災訓練」を実施した。

社会インフラ整備に携わる企業として、地域の災害復旧にいち早く貢献するため、毎年「防災の日」の前後に、確実な事業継続に資するための全

社一斉防災訓練を実施している。

防災訓練に先立ち、発災直後の通信回線の輻輳対策としてPHSを新たに準備、仮設トイレの設置やゴミの分別ルール明確化、停電時に対する非常用電源を新たに準備し

初動対応の手順を詳細に定めた「BCP初動対応編」に沿って、「円滑な初動対応の実践」をテーマに実施。当日は、同社グループの全国約30拠点に現地災害対策本部を設置し、「従業員の安否確認」「初動対応における

置し、グループ各社の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断についても訓練した。

野崎秀則社長は「今回の防災訓練では、テーマとした『円滑な初動対応の実践』に一定の成果が得られた。今後は、今回の防災訓練の結果を元に幅広く課題を洗い出し、さらにBCPを充実する必要がある。特に、非常用電源については、より実践的に使用できるよう改善を行う」と災害対策本部会議で述べた。今回の防災訓練で洗い出された課題に基づき、引き続き確実な事業継続に向けて行動していく。

全社一斉防災訓練を実施

円滑な初動対応実践

ACKグループ

たほか、負傷者救護の環境として、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAED（自動体外式除細動器）の使用訓練Ⅱ写真Ⅱを行い、事業継続計画（BCP）を充実させた。

「役割分担の明確化」「事業復旧時期の判断」「従業員の帰宅可否の判断」「帰宅困難者への備蓄品の配布」など、初動対応の一連の流れについて訓練した。

また、ACKグループ本社に災害対策本部を設

今年度の防災訓練は、事業継続計画（BCP）と